平成31年度　公民

学校番号	2001

教科	科目	必修／選択	単位数	指導学年
公民	現代社会	必修	1+1	第1年次前期・後期

教科書・副読本・問題集 No.	分類	教材名
①	教科書	高等学校 現代社会（第一）
②	副読本	最新現代社会資料集 新版2019
③	自作教材	プリント教材
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		

学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

教科からのメッセージ（学習方法 等）

まず教科書の内容・基本的事象について正しく理解すること。その上で様々な社会事象について深く考察し、その課題・問題点について正しく認識すること。そしてその問題点について、自らの意見・考えを構築し、表明できる能力を身につけること。

特記事項

必履修科目。「現代社会」または「政治・経済」「倫理」を卒業までに必ず履修しなければならない。

学習評価（評価規準と評価方法）

観点		観点の趣旨	主な評価方法
A	関心・意欲・態度	現代社会の諸問題について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、現代に生きる人間として自己のあり方を見つめ直し、社会の構成員として正しい判断力を持って責任ある行動をとれる。	学習態度・意欲、課題提出、発表・発言等
B	思考・判断・表現	社会情勢について正しくは把握し、多様な情報の中から自主的に的確な判断が下せる。	定期考査、課題提出、発表・発言等
C	資料活用の技能	日々の生活に関わる様々な情報を精査し、必要なものを有効に活用する能力を高めている。また自らの情報を適切に表現・発信する能力を高めている。	課題提出、作業学習等
D	知識・理解	現代社会に見られる事象について正しく認識・理解し、その知識を積み重ねて良識ある社会人となることを目指している。	定期考査、小テスト等
E			

年間（学期間）指導計画

学期	期間	教材	単元	配当時間	学習内容	評価観点	単元目標（CAN-DO）／単元（題材）の評価規準	主な学習活動	主な評価方法	評価
前期	第一中間まで	①②③	私たちの生きる社会	12	地球環境問題(ABCD) 資源エネルギー問題(ABCD) 科学技術の発達と生命倫理(ABCD) 高度情報化社会(ABCD)	A B D	環境問題について、正しく認識し、理解する。(BD) 環境問題と関連させながら、資源エネルギー問題の現状を把握し、これからのエネルギー問題について理解する。(ABD) 技術の進歩と生命倫理について理解する。(ABD) 情報化社会の利点と問題点について確認し、情報を主体的に理解する。(AB)	要点確認 作業学習 資料読解 問題演習	定期考査 課題提出 学習態度・意欲 出席状況	5 4 3 2 1
前期	第二中間まで	①②③	現代に生きる青年 個人の尊重と法の支配	12	青年期の意義と課題(ABCD) 民主政治における個人と国家(ABD) 基本的人権と法の支配(ABCD) 世界のおもな政治体制(ABCD)	A B D	青年期の意義について考察し、伝統や文化について理解する。(ABD) 民主政治における個人と国家のあり方について理解する。(BD) 法の支配、権力分立、基本的人権について正しく理解する。(ABD) 世界の政治体制について、それぞれの制度や仕組みについて理解する。(ABD)	要点確認 作業学習 資料読解 問題演習	定期考査 課題提出 学習態度・意欲 出席状況	5 4 3 2 1
前期	期末まで	①②③	現代の民主政治と政治参加の意義	12	日本国憲法の基本原理(ABCD) 平和主義と安全保障(ABCD) 国民主権と議会制民主主義(ABCD) 内閣・裁判所の機能(ABCD) 政治参加(ABCD)	A B C D	日本国憲法の基本原理について正しく理解する。(ABCD) 日本国憲法に掲げられた平和主義の理念を理解する。(BD) 国会の機能・役割、内閣の構成・機能、司法権の独立について理解する。(ABD) 地方自治のあり方について学び、政治参加の意義を理解する。(ABD)	要点確認 作業学習 資料読解 問題演習	定期考査 課題提出 学習態度・意欲 出席状況	5 4 3 2 1
後期	第一中間まで	①②③	国際政治の動向と日本の役割	12	国家主権と国際法(ABCD) 今日の国際社会(ABCD) 人種・民族問題(ABCD) 外交政策と日本の役割(ABCD)	A B C D	国際法の意義を認識し、国際社会の特質について理解する。(ABCD) 国際連合の役割を学び、国際協調・国際平和について理解する。(ABCD) 人種問題・民族問題について理解する。(ABCD) 国際社会における日本の役割について理解する。(ABCD)	要点確認 作業学習 資料読解 問題演習	定期考査 課題提出 学習態度・意欲 出席状況	5 4 3 2 1
後期	第二中間まで	①②③	現代の経済社会と私たちの生活	12	経済社会と経済体制(ABCD) 市場経済の仕組み(ABCD) 政府の経済的役割(ABCD) 日本経済の動き(ABCD)	A B C D	経済の基本的な仕組みを学び、資本主義経済の特徴を理解する。(ABCD) 市場のしくみ、価格機構の働きについて理解する。(ABCD) 財政政策、租税制度について理解する。(ABCD) 産業構造の変化、日本経済の動きについて理解する。(ABCD)	要点確認 作業学習 資料読解 問題演習	定期考査 課題提出 学習態度・意欲 出席状況	5 4 3 2 1
後期	期末まで	①②③	国際経済の動向と日本の役割 現代に生きる倫理	12	国際経済の仕組みと動向(ABCD) 国際協調と日本の役割(ABCD) 日本思想と西洋思想(ABCD) 現代に生きる人間の倫理(ABCD)	A B C D	国際収支の仕組み、円高・円安の仕組みについて理解する。(ABCD) 国際協調の中での日本の役割について理解する。(ABCD) 日本の伝統的な思想、近代の西洋思想について理解する。(ABCD) 現代社会に生きる人間の倫理について理解する。(ABCD)	要点確認 作業学習 資料読解 問題演習	定期考査 課題提出 学習態度・意欲 出席状況	5 4 3 2 1